

平成 30 年度および令和元年度,後期学修成果到達度アンケート集計結果

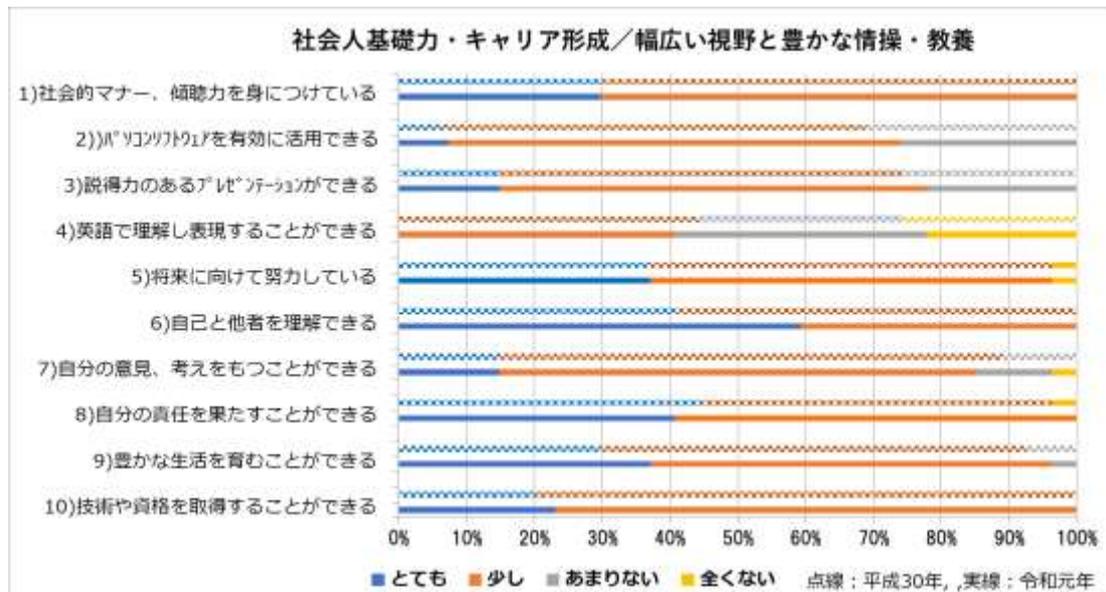
【設問 1-1：社会人基礎力・キャリア形成力を図る】

- 1) 挨拶や言葉遣いをはじめとする社会的マナー、傾聴力を身につけている。
- 2) パソコンソフトウェアのワード・エクセル・パワーポイントを有効に活用できる。
- 3) 情報を収集・整理して、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- 4) 英語を使うことに喜びと自信をもち、生活のさまざまな話題について、英語で理解し表現することができる。
- 5) 自分の目標(免許や資格取得を含む)や将来に向けて努力している。

【設問 1-2：幅広い視野と豊かな情操・教養を図る】

- 6) 人々の考え方や価値、文化が多様であることを理解した上で、自己と他者を理解できる。
- 7) 政治・社会で起きている様々なことに対して、自分の意見、考えをもつことができる。
- 8) 集団のなかでの役割を理解し、友人と協力しながら自分の責任を果たすことができる。
- 9) 日本の伝統文化に親しみ、自らの家庭生活に導入することで豊かな生活を育むことができる。
- 10) 日常の家庭生活を豊かにするために、技術や資格を取得することができる。

設問 1-1,1-2. 全専攻集計結果



設問 6) 人々の考え方や価値、文化が多様であることを理解した上で、自己と他者を理解できる。

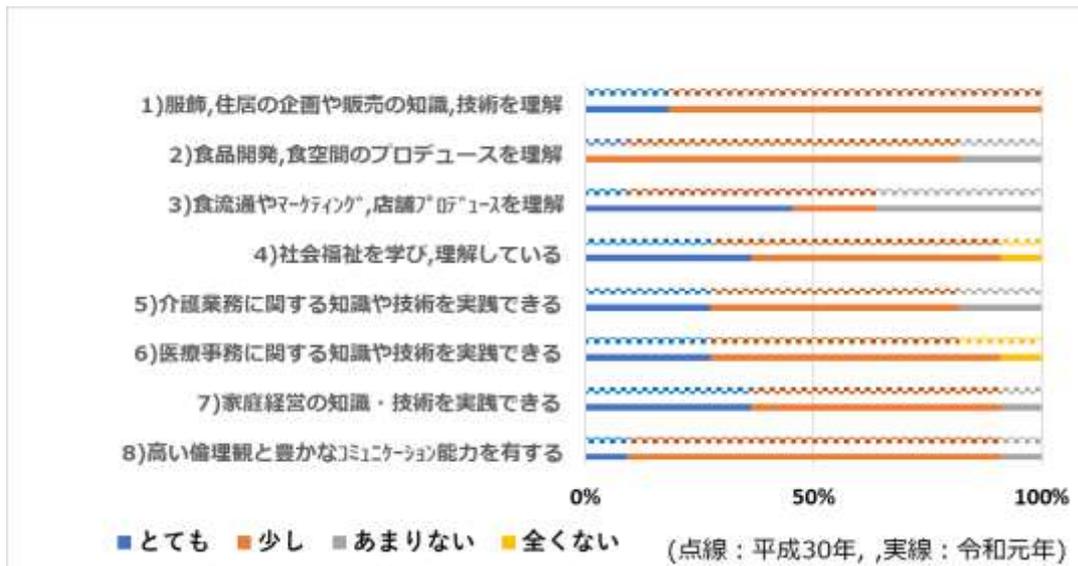
設問 9) 日本の伝統文化に親しみ、自らの家庭生活に導入することで豊かな生活を育むことができる。

の設問の回答に年間の差がみられるもの、他の設問の回答に年間の大差無し。

【設問 2-1：生活デザイン専攻】

- 1) 服飾と住まいの企画や販売に必要な知識と技術を身につけている。
- 2) 食品に関する知識を持ち、商品開発や食空間を総合的にプロデュースするために必要な知識を身につけている。
- 3) 食の流通やマーケティング、店舗プロデュースに必要な企画・評価・分析ができる。
- 4) 社会福祉に関する知識を学び、保健・医療・介護分野との連携の重要性を理解している。
- 5) 介護業務に関する知識や技術を学び、実践できる能力を身につけている。
- 6) 医療事務に関する知識と技術を学び、実践できる能力を身につけている。
- 7) 家庭経営に必要な衣食住や家族・福祉・介護、保育、経済などに関する知識・技術をバランスよく身につけ、自らの家庭生活に実践できる。
- 8) 家族・家庭が社会に果たす役割について理解し、高い倫理観と豊かなコミュニケーション能力を有している。

設問 2-1. 生活デザイン専攻集計結果



設問 3) 食の流通やマーケティング、店舗プロデュースに必要な企画・評価・分析ができる。

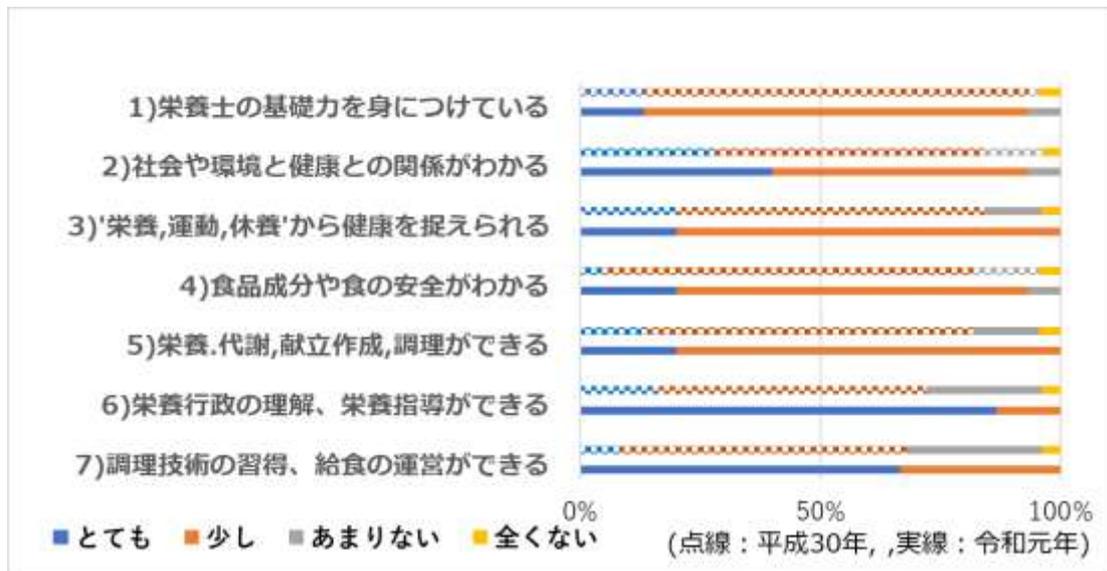
設問 4) 社会福祉に関する知識を学び、保健・医療・介護分野との連携の重要性を理解している。

の回答に年間の差がみられたが、他の設問の回答に年間の大差無し。

【設問 2-2：食物栄養専攻】

- 1) 栄養士としての基礎力を身につけている。
- 2) 社会や環境と健康との関係がわかる。
- 3) 人体の構造・機能を理解した上で、「栄養、運動、休養」の3点から健康を捉えることができる。
- 4) 食品成分の特性や人体に対する影響及び評価、食の安全がわかる。
- 5) 栄養・代謝を理解し、対象者の身体状況や栄養状態に合った献立作成及び調理ができる。
- 6) 栄養行政を理解した上で、個人・集団や地域に合った食・栄養指導ができる。
- 7) 調理理解と確かな技術を身につけて、給食の運営ができる。

設問 2-1. 栄養士専攻集計結果



設問 2) 社会や環境と健康との関係がわかる。

設問 4) 食品成分の特性や人体に対する影響及び評価、食の安全がわかる。

設問 6) 栄養行政を理解した上で、個人・集団や地域に合った食・栄養指導ができる。

設問 7) 調理理解と確かな技術を身につけて、給食の運営ができる。

の年間の回答に大きな差がみられた。